

# 技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

## 事業実施報告書【インドネシア】

|      |  |
|------|--|
| 担当講師 | 吉江 和幸氏 (セイコーエプソン株式会社)                    |
| 実施期間 | 2026年1月5日(月) ~ 1月9日(金)                   |
| 実施場所 | インドネシア共和国 東ジャカルタ市<br>松下ゴーベル財団・ハイテク金型センター |
| 研修   | 技能評価者講習(SAT)、技能評価トライアル(SET)              |
| 実施職種 | 平面研削盤作業 2 級                              |

2026年2月

## 結果概要

1. 対象者数：SAT 受講者数 7 名 / 修了者数 7 名  
SET 評価者数 7 名 / 受検者数 4 名 / 合格者数 1 名

## 2. 日程

| 日時                                | 指導内容  |
|-----------------------------------|---|
| 1月5日(月)<br>8:30~16:30<br>(全て現地時間) | 【技能評価者講習(SAT)】<br>(1) 準備<br>(2) 挨拶<br>(3) SESPP 概要<br>(4) 訓練スケジュール説明<br>(5) 評価者の役割と責務<br>(6) 実技試験問題、必要な器工具、材料について<br>(7) 必要な備品について<br>(8) 実技試験実施運営上の留意点について<br>(9) 2 級課題の加工手順について<br>(10) 平面研削盤の整備状況のチェック |
| 1月6日(火)<br>8:30~16:30             | 【技能評価者講習(SAT)】<br>(1) 役割演習 (評価者と受検者に分かれて)<br>(2) 測定・採点実習  |
| 1月7日(水)<br>8:30~16:30             | 【技能評価者講習(SAT)】<br>(1) 測定・採点実習 (続き)<br>(2) 評価チームの編成と役割分担<br>(3) 実技試験タイムテーブル作成<br>(4) 工具、測定器等の準備<br>(5) 試験用材料のチェック  |
| 1月8日(木)<br>8:30~16:30             | 【技能評価トライアル(SET)】<br>8:00~8:20 受付、開会式<br>8:30~11:30 実技試験 (1 回目: 受検者 2 人)<br>12:45~15:45 実技試験 (2 回目: 受検者 2 人)<br>15:45~16:30 測定、採点準備  |
| 1月9日(金)<br>8:30~16:30             | 【技能評価トライアル(SET)】<br>(1) 測定・採点作業<br>(2) 作業態度採点、作業時間採点の取りまとめ<br>(3) 試験結果表作成<br>(4) 総括<br>(5) アンケート記入  |

### 3. 講評(吉江講師)

SESPP 事業における、平面研削盤作業 2 級 SAT/SET をインドネシアで実施し、無事に初年度を終えることができました。今回の SAT/SET で評価者 7 名を対象に講習を行い、7 名を修了できたことは、2 級評価者育成の 3 か年計画の継続性を確かなものにするうえで大変良かったと考えます。

評価者の育成結果として、研削盤作業に関する専門技術や技能については、若干の指摘事項はありつつも大きな課題や特段の問題はありませんでした。評価者としての取り組み姿勢では、受検者への接し方やその対応等についても、公正で公平な運営を心掛ける、適正な評価を行うという意識も高く、評価者同士で話し合い、教え合う事も出来ていました。

試験環境に関する作業エリアのスペース、照度、温度、使用する機械、工具、測定器などについては、カウンターパートである IMDIA の協力を得て、評価者で試験場を設置し、試験日までには揃える事ができました。このような結果から、問題ないレベルで検定試験の運営が出来たと判断しています。

また、SET 受検者は機械台数と日程の制約から 4 名の受検となり、合格者は 1 名となりました。合格率からすれば、もう少し数値を上げたいところです。検定試験前にはワークショップが開催されていて、学科 2 日、実技 3 日、模擬試験 1 日の合計 6 日間の訓練が行われたそうです。結果から見れば、今後は実技試験の練習時間を増やす事を検討してもらえればと思います。

SESPP 事業、平面研削盤作業 2 級評価者の育成の結果は、各方面の組織的、人的な協力があって好調なスタートが切れたと思います。

受講者がインドネシアの評価者資格を得るには、あと 2 年の検定実務経験と BNSP による試験に合格する必要があります。ぜひ各人が努力されて評価者の資格を得て活躍されることにより、インドネシアの技術発展に寄与される事を望みます。

### 4. アンケート結果

#### SAT【技能評価者講習】

◆受講者 7 名(回答者 7 名)(※5 段階評価)

|       |               |             |
|-------|---------------|-------------|
| 満足度：  | 5：大変満足=5 人    | 4：満足=2 人    |
| 役立ち度： | 5：大変役立つ=4 人   | 4：役立つ=3 人   |
| 継続性：  | 5：是非継続すべき=3 人 | 4：継続すべき=4 人 |

#### 【改善点・提案】

- ・平面研削盤について、さらに知識を深めたい。
- ・研修内容を画像や動画で可視化し、理解しやすく。
- ・受講者同士でお互いを知る時間が欲しい。
- ・動画を興味が持ちやすいものにして欲しい。
- ・研削作業についての講習

#### 【意見・感想・実施希望】

- ・フライス盤
- ・溶接

- ・インドネシアにおける研削加工分野の専門性を高め、製造業を発展させたい。
- ・評価ポイントの各段階において、イラストにして見せてほしい。
- ・モジュールはより魅力的に作られていた。

◆現地責任者 1 名(回答者 1 名)

継続性： 5：是非継続すべき=1 人

【改善点・提案】

- ・吉江講師と技能評価者研修参加者との面談では、試験会場周辺的环境改善、作業用具、測定器、作業対象物、参加者・評価者間の識別マーク、安全対策、評価者業務の割り当て、問題解決策などに関する様々な項目が議論された。いくつかの項目は現時点で最適とは言い難く、今後改善する予定である。

【意見・感想・実施希望】

- ・IMDIA としては、2026 年に金属プレス加工 2 級の SAT/SET が実施されることを期待している。

SET 【技能評価トライアル】

◆評価者 7 名(回答者 7 人)(※5 段階評価)

満足度： 5：大変満足=5 人 4：満足=2 人  
 役立ち度： 5：大変役立つ=5 人 4：役立つ=2 人  
 能力向上度： 5：大変向上した=4 人 4：向上した=3 人  
 継続性： 5：是非継続すべき=2 人 4：継続すべき=4 人 3：どちらともいえない=1 人

【改善点・提案】

- ・双方向のコミュニケーション
- ・評価プロセス中の状況を説明する動画または画像付きの説明。
- ・機械左側に安全ストッパーを取り付ける。
- ・評価ツールの追加
- ・研削盤に関するより多くの知識
- ・モジュールについては、写真を添え、動画を加えることでより明確になると思う。
- ・画面上のデジタル時計／タイマー／ストップウォッチ

【意見・感想・実施希望】

- ・インドネシアにおける研削加工分野の専門性を高め、製造業の発展を推進する。
- ・教科書に干渉、へこみ、チャタリングなどの外観検査ポイントに関する詳細な写真例を追加し、研修参加者がより理解を深め、認識の差異を最小限に抑えられるようにしてほしい。
- ・溶接の実施
- ・自身の知識と経験を積むだけでなく、将来的に他人の資格取得をサポートできるようになりたい。
- ・試験開始後、各試験官が試験会場内を移動する際の動線を指定してほしい。

◆受検者 4 名(回答者 4 人)(※5 段階評価)

満足度： 5：大変満足=3 人 4：満足=1 人

役立ち度： 5：大変役立つ=4 人  
継続性： 5：是非継続すべき=4 人

**【改善点・提案】**

- ・ 来年度は、実践的な演習時間を増やし、評価基準を明確化し、試験前の説明を充実させてプログラムを継続してほしい。また、日常の生産活動に関連する実際の事例をさらに取り入れることで理解を深めることができれば有益であると思う。
- ・ 機器及び設備の整備と状態がさらに改善されることを願っています。
- ・ 設備及び機械の整備状態の更なる向上。

**【意見・感想・実施希望】**

- ・ 高度な研削加工、フライス加工、金型関連プロセスなど、より多くの機械加工関連の職種の研修を実施してほしい。これらの職種は製造及び生産性向上に極めて関連性が高いからである。
- ・ 参加者は IMDIA の制服を着用してほしい。

**◆現地責任者 1 名(回答者 1 人)(※5 段階評価)**

継続性： 5：是非継続すべき=1 人

**【改善点・提案】**

- ・ 評価練習中に問題が生じた場合、参加者は直ちに吉江講師から助言を得られるため、不足点を即座に解決できた。

**【意見・感想・実施希望】**

- ・ IMDIA としては、2026 年に金属プレス加工 2 級において、SAT/SET が実施されることを期待している。